



園だより

ここの実こども園 園長 大関 芳子

じめじめとした蒸し暑い日が続く、梅雨明けが待ち遠しいです。夏本番前に、子ども達は元気いっぱい過ごしています。

【今月の予定】

8月 5日 (水)	夏祭り
12日 (水)	にこにこクラブ
14日 (金)	布団持ち帰り
18日 (火)	避難訓練
20日 (木)	誕生会
24日 (月)	保育士体験
26日 (水)	発育測定 (乳児)
	サッカー教室
27日 (木)	発育測定 (幼児)
28日 (金)	布団、内履き持ち帰り



園長つぶやき

お誕生日会は子どもたちが楽しみにしている行事です。誕生日のお友達は前に並び、全員からお祝いしてもらいます。ちょっと恥ずかしいけれどもうれしい瞬間です。当番の先生が毎月違った出し物を考えます。7月はペープサートで台本読みなしのひとり劇、音楽に合わせての簡単な踊りを繰り返したら、最後のほうはたくさん子どもたちが真似ていたぐらい盛り上がりしました。あまりに楽しかったので、延長保育のところでもう一回してもらうことにしました。また、誕生会の献立メニューは、各園で決めて良いことになっていますので、調理師さんとどんなものが喜んでくれるかと大苦戦の検討会をします。基本はわくわくして、食べたいと思うもの。今月のおやつには大好きな「この実パフェ」が登場しますし、9月は今まで出てきたことのない、初めての試み、なんとキーマカレーにナンをつけた給食を考えているようです。

【8月5日(水)は夏祭りです。】

「お面やさん」「金魚すくい」「まとあて」「わなげ」「わにわにパニック」のお店を回ります。今年も、お店屋さんを保護者の方にお願ひしました。ありがとうございます。子ども達はゆり組さんがリーダーとなり、ばら組さん・ちゅうりっぷ組さんの縦割りグループでお店を回ります。どんなことが起こるのか、今からワクワク、ドキドキです。給食は「このみ弁当」おやつは「かき氷」(たんぼぼ以上)です。1日中、夏祭りの雰囲気味わえるよう、楽しみながら準備しています。子ども達の喜ぶ姿を想像すると、今から楽しみです。子ども達もとても楽しみにしていて「あとなんかいねたらなつまつり?」と聞いてきます。お家に浴衣や甚平のある方は、着用して登園されてもかまいません。お土産もたくさんあります! お土産は保護者会費より購入していただきました。ありがとうございます。



【夏バテ&熱中症】

食欲がない、元気がない、機嫌が悪い、下痢や吐き気などの症状が出たら、注意しましょう。元気に夏を過ごすためには、食事や睡眠をたっぷりとる・水分補給をこまめにとることが大切です。また、エアコンの効いた部屋で汗ひとつ流さずに過ごしていたりすると、汗をかく機会がなくなってしまい体に熱がこもり夏バテしやすい体になってしまいます。園では、室温設定を26度~27度にしていきます。プールの後は体が冷えているのでエアコンはかけず、食事・午睡時にはつけて過ごしやすい環境設定に心がけていきます。エアコンと扇風機を上手に使い体調を崩さないようにしていきたいと思ひます。



【お知らせ】

- 8/10 (月) ~8/14 (金) 迄、プール及び水遊びはお休みします。プールバッグは7日 (金) に一度お持ち帰りお願ひします。
- 8/7・8/14 (金) 絵本の貸し出しは、絵本整理のため貸し出しはお休みです。
- 就学時検診の日程が決まりました。ご確認お願ひします。

《にこにこクラブ》

今月は「ミニ夏祭り」です。時間は10:00~です。駐車場が空いている場合はご利用できます。お誘ひ合わせの上、是非お越しください。

《保育士体験》

8月24日 (月) 又は10月22日 (木) 幼児クラス対象です。子ども達と一緒に遊んだり、一緒に給食を食べたり、実際の保育の仕事を経験していただきます。8月はあと1名、10月はあと2名です。(ばら組はどちらも定員になりました) 普段の子ども達の様子も見ることができる貴重な体験です。参加お待ちしております。

【卒園児お楽しみ会】

7/24 (金) 卒園児お楽しみ会が行われました。久しぶりの再会に、声をあげ全身で喜んでいました。お遊戯室でスライムを作り、大好きなドッジボール大会 (卒園児 VS ゆり組・卒園児 VS 職員数名) で汗をかき、懐かしいプールにも入りました。美味しいお弁当を食べながら会話が止まらないのはい言うまでもありません。午後は映写会。おやつは、「かき氷」あつという間に時間が過ぎました。体は大きくなっても、変わらない笑顔と笑い声が溢れていました。元担任は充実感と心地よい疲れに包まれ、これまでの思い出が自然とよみがえって来ようです。

お休みが増える8月です。園生活で身につけた生活リズムを出来るだけ維持できるようにしましょう。

- ・マナーとエチケット、社会のルールを伝えて守りましょう。
- ・交通、水、花火の事故にはくれぐれも気をつけましょう。
- ・幼児期の子どもを決して一人にしないようにしましょう。

